

日南町議会議員 山本 芳昭 様

日南町長 中村 英明

櫃田 洋一議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 移住・定住事業の取り組みについて</p> <p>①ターゲットは、どのように定めて進めていくのか伺う。</p> <p>②県外との往来が制限されている中、どのように募集を行うのか伺う。</p> <p>2. 観光事業の取り組みについて</p> <p>①フェノロジーカレンダーは進行中であるが、どのように活用されるのか伺う。</p> <p>②「旧木下家住宅の活用に向けた事業提案コンペ」が行われたが、その後の展開を伺う。</p> <p>③観光名所として猿隠山があり、隣町の住民及びハイキング者から頂上の整備を求める声もあるが、整備状況を伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①第6次総合計画に定める生産年齢人口の増加が重点であり、各年代層にあった様々な情報を発信して、町の認知度を高めていくこととしている。</p> <p>②今後もオンラインによる相談会への参加に努めていく。また、移住定住サイトでのオンライン移住相談の申込みを活用していく。</p> <p>2.</p> <p>①観光客をはじめとする来町者に魅力を知ってもらふ誌面とするほか、町民にも改めて地域の魅力を知り、共通認識のもとにまちづくりへ活かしていきたい。</p> <p>②鳥取県のモデル事業を活用し、建物診断調査を行った。結果は今年度中に報告される予定。また、今後の活用方法について地域で意見交換いただいた。それらを基に有効な利活用の検討を継続していく。</p> <p>③鳥取県側は国有林のため、現在は整備に至っていない。今後の整備のあり方を検討していく。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. セントラル農場の環境問題について 「セントラルファーム汚水対策検討会」の昨年12月からの取り組み状況と今後の計画について伺う。</p> <p>①昨年12月中旬以降上原社長と会談されたのか。されたのであれば、どのような内容であったのか。</p> <p>②昨年12月2日に町長から常務に対して、新農場長の早期着任と専門業者への業務委託の検討を要請されたが、その後どうなったのか。</p> <p>③2月に永禮教授が、対策状況確認のために現地調査をする予定だったが、結果はどうなったのか。</p> <p>④1月27日に濁りと泡が再び発生したが、その発生原因は判明したのか。</p> <p>⑤1月27日の検査結果の報告を受けられたのか、受けられたのであればどのように思われたのか。</p> <p>⑥2ヶ所の検査費用は、どのように処理されるのか。</p> <p>⑦3月に「河川の水質悪化に関する意見交換会」を開催予定とされていたが、いつ開催されるのか。</p> <p>2. J-クレジット販売の今後について</p> <p>①令和3年度末での保有量は何tと見込んでいるのか伺う。</p> <p>②令和4年度の販売量を何tと見込んでいるのか伺う。</p> <p>③令和4年度の途中で不足が生じると思われるが、どのような対応を考えておられるのか伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①社長との会談は実現していないが、2月25日に佐伯取締役とリモート会議を開催し、立入調査の指摘事項の早期完了を要請した。また、汚水の流出事故に関して、会社全体で再発防止対策に取り組むよう要請した。</p> <p>②新農場長の配置は難しい状況であるが、浄化槽の管理は専門業者に管理を委託した。</p> <p>③県境をまたぐ移動の自粛制限を受け、確認のための現地調査は延期となっている。</p> <p>④本社からの報告により、汚水ピットの配管が詰まり汚水が流出したと判明した。</p> <p>⑤水質検査の結果は、汚水の流出があった水路において、BODが国の基準を超える数値であったことが特に問題だと思っている。</p> <p>⑥農場が負担する。</p> <p>⑦岡山大学の調査結果がまとまった時点で、新型コロナウイルス感染状況も勘案しながら開催時期は判断する。</p> <p>2.</p> <p>①令和3年度末の保有量は、約1,200トンを見込んでいる。</p> <p>②令和3年度と同水準程度の販売量を見込んでいる。</p> <p>③当面は、日南町森林組合所有のクレジットの紹介や共同での販売等を検討している。</p>

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

近藤 仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 旧木下家の活用方針について</p> <p>①木下家より無償で譲り受け維持管理を観光協会に委託されているが、活用に向けた所期の目的をあらためて伺う。</p> <p>②今後こういった形での活用を考えておられるか方針内容を伺う。</p> <p>2. 日南町農業の現状と対策について</p> <p>①日南町農業の現状についてどのように把握されておられるか、認識を伺う。</p> <p>②農業の弱体化は集落維持に直結しており、対策が急がれるが考えを伺う。</p> <p>3. 日南町経済基盤の強靱化について</p> <p>①人口減少の大きな要因は、本町の経済基盤の脆弱さが起因していると考えられる。 所得の向上と職種の多様化が求められていると考えるが、町長の見解を伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①寄附採納申請者の意向を尊重し、地域資源としての利活用を目的としている。</p> <p>②鳥取県のモデル事業を活用し、建物診断調査を行った。結果は今年度中に報告される予定。また、今後の活用方法について地域で意見交換いただいた。それらを基に有効な利活用の検討を継続していく。</p> <p>2.</p> <p>①生活スタイルや社会構造の変化により、農業という営みが大きく変わってきている。そのため、農家数の減少や水田農業の形も大きく変わってきた。また、日本全体で少子高齢化が進む中、日南町は更に30年先を行っているため、非常に厳しい状況が続いている。</p> <p>②農業の弱体化は、地域が寂れていく一つの要因と考えるが、高度経済成長期から生活や思考の変化によって町がとり残されたともいえる。今やるべきことは、農業は担い手農家（認定農業者等）を中心に支援策を進め、未来の担い手の育成・投資として、生まれ故郷で暮らすこと、働くことの大切さなどについて説くことだと考えている。</p> <p>3.</p> <p>①本町の人口減少は、自然動態の減少が大きな要因であり、減少に伴い町民所得及び経済循環規模も縮小している。所得の向上は重要課題であり、職種も選択肢の多い方が定住の可能性も高まる。特に農業所得、農業生産の向上が欠かせない。研修制度の継続により担い手確保に努めるほか、新たにチャレンジ起業地域おこし協</p>

<p>4. 持続可能な農業生産について</p> <p>①持続可能な農業生産を維持・発展させるための環境に配慮した栽培とは何か、具体的に示されたい。</p>	<p>力隊を募集し、地域活動を行いながら新たな職種への取り組みを応援していく。</p> <p>4.</p> <p>①（町長施政方針に対する一般質問のため、答弁要旨は記載しません。）</p>
-------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------

日南町議会議長 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岩崎 昭男議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁要旨
<p>1. 地域活動支援交付金について</p> <p>①交付金の名称を「地域コミュニティ活性化交付金」から「地域活動支援交付金」へ変更された理由を伺う。</p> <p>②制度設計に住民意見は反映されたのか伺う。</p> <p>③納税奨励金と当該交付金を比較し、金額が増加する班数及び減少する班数について伺う。</p> <p>④交付金の効果を判断するための基準について伺う。</p> <p>⑤交付金を交付するにあたり、今後のスケジュールについて伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①各地域での意見から、現状の地域活動を継続していく組織力の強化が最優先であると考えたため。</p> <p>②活動支援については、概ね了解されたものと認識している。一部、施設管理費の支援要望があったが、別の制度設計が必要と感じ、今後検討していく。</p> <p>③令和2年度納税奨励金実績と交付金は、現状の班へ移行する事を前提に試算し比較したところ、総班数202件、増加班数は136件、減少班数は66件であった。あくまでも試算見込みである。</p> <p>④地域活動の継続を第一とした上で活動の上向きを期待している。従って、まずは自治会や班等の存続と地域活動の継続が第一の基準と考えている。</p> <p>⑤予算可決成立後、交付要綱制定及び各自治会等への周知を行う。申請は4月上旬頃、交付決定・支払いは5月下旬頃を想定。</p>
<p>2. 移住・定住対策について</p> <p>①コロナ禍により地方回帰への関心が高まっていると言われるが、町への転入者の状況はどうか伺う。</p> <p>②令和4年度の地域おこし協力隊員の採用予定者数と業務（任務）内容及び隊員の住宅確保の状況について伺う。</p> <p>③移住定住を推進・サポートする新法人の準備状況と今後の動きについて伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①4月から1月までの間、48世帯58名が転入。うちIターンは25世帯29名。</p> <p>②継続が5名、うち農業研修生3名、塾講師1名、交流支援員1名。新規が2名、2名とも農業研修生。住宅はいずれも町内住居を確保。</p> <p>③職員の求人募集を行っている。今後、観光協会の理事会を経て法的手続きを行い、4月から新体制として開始するため、鋭意取り組んでいる。</p>

<p>3. 情報化推進施策について</p> <p>①情報化推進計画では、実効性を高めるため「情報化推進計画アクションプラン」を策定し進捗管理を行うとあるが、アクションプラン策定はなされたのか伺う。</p> <p>②DX推進チーム設置目的と取り組み状況（会議の開催回数とその内容）について伺う。</p> <p>③2月22日からキャッシュレスシステム（たつたもカード）の運用が開始されたが、利用状況と町民の反応（高評価、苦情等）について伺う。</p> <p>④町内の携帯電話不感地域は、令和元年度時点では3地区7集落にあると把握されていた。その後の解消に向けた動きについて伺う。</p> <p>⑤義務教育課程や高齢者におけるデジタルデバイス解消に向けての対策と具体的な取り組みについて伺う。</p>	<p>3.</p> <p>①内部で精査を行っている最中であり、今年度中の公表を行う予定としている。</p> <p>②日南町情報化推進計画の遂行には、組織全体で取り組まなければならないと強く感じたことが設置の目的。会議は6月と11月の2回実施。1回目は、国・県DXの流れ、町情報化推進計画の説明、アクションプラン素案と業務課題の洗い出しを依頼。2回目は、重点取り組みの共有、令和4年度予算編成に併せての方針検討依頼、アクションプラン素案の精査、ホームページ改善など、チームで確認。全職員で情報共有を図っている。</p> <p>③チャージは、2月15日から24日までの10日間で約260万円。利用は、2月22日から24日で約100万円。町民の反応は、「慣れれば便利に感じた」、「チャージ機の故障が不安」、「現金を出す手間がなく簡単だった」など。</p> <p>④令和元年度以降、解消には大きく進展していない状況。県・県下全市町村で発足したデジタルデバイス部会や、日南町DX推進チーム連携企業、各キャリアへの働きかけなど改善に向け引き続き努めていく。</p> <p>⑤義務教育段階では、GIGAスクール構想により、県内全市町村が一体的に整備を進めたり、教職員の研修の充実を図るなど、地域間や学校間での活用の差が生じないように努めている。子どもの利活用スキルについては、授業での指導等でどの子にも保障できるよう努めていきたい。また、補助金の交付等により家庭のインターネット環境整備にも取り組んできた。インターネット環境のない家庭には、緊急時にはモバイルルーターの貸与を行っていきたい。</p> <p>高齢者に対しては、人生学園や町民大学でパソコンやスマホ教室を行ってきた。今後も企業と連携しながら、各種教室や相談会などの開催に取り組んでいく。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

岡本 健三議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1. 介護、保育などに従事する職員の処遇改善補助金（交付金）について 「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として国が令和3年度補正予算に計上した処遇改善補助金（交付金）について以下の①～④に対し、介護と保育関連（学童保育を含む）それぞれについて示されたい。</p> <p>①補助金を申請した場合に国から日南福祉会または町へ交付される補助金の概算総額</p> <p>②介護について日南福祉会は補助金を申請したか。また、保育関連について町は補助金を申請したか。あるいは申請する予定か。</p> <p>③具体的な賃上げの対象と方法</p> <p>④国の補助金の対象とならない令和4年10月以降はどのような財源で賃上げを継続する予定か。あるいは継続しない予定か。</p>	<p>1.</p> <p>① （介護）日南福祉会への補助金概算総額は、4,800千円と見込まれる。 （学童）放課後児童クラブへの補助金概算総額は、48千円と見込まれる。 （保育）保育園への補助金概算総額は、1,531千円と見込まれる。</p> <p>② （介護）現在、申請の意思があることを県に伝達しており、今後、計画書を提出予定。 （学童）放課後児童クラブとしての申請は、他事業との賃金水準を考慮し、申請に至らなかった。 （保育）制度に対応するためには十分な検討・準備を要するため、現時点で補助金申請する予定はない。</p> <p>③ （介護）資格手当および月例給のベースアップを予定。 （保育）正職員と会計年度任用職員が対象で、毎月の給与に上乗せして支給することになる。</p> <p>④ （介護）国が実施する介護報酬の改定および法人負担による継続を予定。 （保育）補助要件によれば、事業終了後も自主財源で賃金水準を維持していかなければならない。</p>

2. 会計年度任用職員の待遇改善について
会計年度任用職員と正職員では手当の支給や
休暇の有給・無給の区別など待遇に大きな差異
がある。これについて次の①②を問う。

①勤続年数が長い方も多く重要な仕事を任さ
れていて、しかも責任も正職員同様に負わされ
る立場にある会計年度任用職員に対して、これ
らの差異をつける合理的な理由はないのでは
ないか。町長の見解を問う。

②職員のやる気向上、子育て応援などの観点か
ら、これらの差異をなくしてはどうか。

なお具体的には、例えば次のような差異があ
る。

・住居手当、扶養手当などが会計年度任用職員
には支給されない。

・産前・産後休暇、母子保健指導休暇などが会
計年度任用職員では無給である。

3. 「みどりの食料システム戦略」とネオニコチ
ノイド系農薬について

ネオニコチノイド系農薬は神経毒であり、ミツ
バチやうなぎなどの動物を激減させたり、人間
の子どもに発達障害の原因になると言われて
いる。「みどりの食料システム戦略」では「2040
年までに、多く使われているネオニコチノイド
系農薬を含む従来の殺虫剤を使用しなくても
すむような新規農薬等の開発」とある一方、現
時点での具体的な取り組みには言及していな
い。

①町長は「環境に配慮した栽培へと転換を図る
取り組みが必要」と明言している。ネオニコチ
ノイド系農薬に関して、町長は具体的にどのよ
うな取り組みが必要だと考えているか。

②町は必要な取組を実行する農家に対して、補
助制度の創設など財政的な措置を検討してい
るか。

③「有機農業の取り組みをさらに拡大」ともあ
るが、まず保育園や学校の給食に使用する米や
野菜を有機あるいは減農薬とし、ネオニコチノ
イド系農薬などを使用しない農産物を子ども
達に食べてもらってはどうか。

2.

①制度の趣旨に沿った適正な運用を行っている。
また、職責や負担を考慮した給与を職種別
に定め対応している。

②国が示している制度に基づきながら適正に
運用する必要があるため、手当や休暇等の変更
は行わない。

3.

①～③（町長施政方針に対する一般質問のため、
答弁要旨は記載しません。）

日南町議会議員 山本 芳昭様

日南町長 中村 英明

久代 安敏議員 一般質問答弁要旨

質問要旨	答弁要旨																								
<p>1. 水田農業と米価暴落対策について</p> <p>①本年1月24日、鳥取西部農協代表理事組合長より「令和3年産米の米価下落に伴う農家への支援要請」が行われている。それへの対応を示されたい。</p> <p>②令和4年産米の作付け数量目標がまとめられた。水田面積 1,163haの内生産目標面積は715haで、町全体での作付率は61.4%で約4割の転作であるが、農水省は「水田活用直接支払交付金」の見直しを行おうとしていることにどう対応するのか。転作の面積を作物別に示されたい。</p> <p>2. 日南病院について</p> <p>①新型コロナウイルス感染予防の3回目のワクチン接種が進む中、自治体病院をどう再生、発展させるのかその展望を示していただきたい。</p> <p>②日南病院の事業運営方針を地域全体で共有するためにも、新年度に講演会もしくは学習会を開催することを提案したいが、どうか。</p>	<p>1.</p> <p>①コロナ交付金を活用して令和4年産米の作付け応援金として10aあたり4千円の支援を行う。</p> <p>②国の水田農業施策は、米の過剰在庫の増加などにより、毎年のように水田活用の直接支払交付金の内容が変わっている。そのため生産者は経営計画が立てづらい。また、本年の方針では令和4年産から令和8年産の5年間のうちに一度も水張りをしない農地を交付金の対象としないということであり、対象農地から外れることで農地の荒廃が進む恐れがあるため、見直しについて要望等対応していきたい。</p> <p>【令和3年主要な転作物】 単位:ha</p> <table border="1" data-bbox="794 1200 1468 1525"> <thead> <tr> <th>作物名</th> <th>面積</th> <th>作物名</th> <th>面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大豆</td> <td>4.2</td> <td>トマト</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>飼料作物</td> <td>12.3</td> <td>白ネギ</td> <td>8.1</td> </tr> <tr> <td>新規需要米 ※</td> <td>15.9</td> <td>ピーマン</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>そば</td> <td>92.5</td> <td>ブロッコリー</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>地力増進作物</td> <td>11.0</td> <td>自己保全管理</td> <td>53.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新規需要米…飼料用米など</p> <p>2.</p> <p>①総合医マインドを持った診療を中心として多職種連携と地域包括ケアシステムを推進し、地域の実状にあった診療体制の在り方を検討していく。</p> <p>②病院開設60周年記念シンポジウムを開催する。</p>	作物名	面積	作物名	面積	大豆	4.2	トマト	8.5	飼料作物	12.3	白ネギ	8.1	新規需要米 ※	15.9	ピーマン	5.5	そば	92.5	ブロッコリー	2.4	地力増進作物	11.0	自己保全管理	53.5
作物名	面積	作物名	面積																						
大豆	4.2	トマト	8.5																						
飼料作物	12.3	白ネギ	8.1																						
新規需要米 ※	15.9	ピーマン	5.5																						
そば	92.5	ブロッコリー	2.4																						
地力増進作物	11.0	自己保全管理	53.5																						

<p>3. PCR検査の体制について</p> <p>①オミクロン株が急速に拡大する中で鳥取県は無料の検査を行っている。日南町も日南病院で無料のPCR検査を提案するが、どうか。</p> <p>②認定保育園、小中学校の児童生徒や教職員および介護施設で働く人たちの不安をなくすための検査体制はどのように行われているのか具体的な説明を求める。</p> <p>4. 移住定住促進について</p> <p>①新型コロナウイルスの感染拡大が、人口の大都市集中に影響を与え始めている。コロナ禍のなか、リモートワークが増え若者の地方への移住に関心が高まっている。今が移住定住の絶好のチャンスだと考えるが、インターネットなどのメディアを駆使して更に発信を図るべきでは。</p>	<p>3.</p> <p>①日南病院でも実施が可能か否かは、現在県の対策本部と協議中であり、前向きに検討している。</p> <p>②園児・児童生徒、教職員への定期的なPCR検査は実施していない。無症状で感染等の不安がある方には、県が実施している無料のPCR検査を受けよう指導している。また介護施設においても同様であるが、鳥取県社会福祉施設等に係るPCR検査等支援事業補助を活用し、無料で受検できる体制が県により整備されている。</p> <p>4.</p> <p>①最近では議会一般質問のYouTube配信をはじめ、町ホームページで無線放送やちゃんねる日南の文字放送の内容を掲載するなど、情報発信の幅を広げている。今後も皆さまからの意見も参考に発信に努めていく。可能な限り、町民の皆さま自ら発信してもらいたい。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------